

作業シートの使用判断

シートの使用にあたっては、以下表をもとに、該当する工程のシートに記入してください。  
(以下表の「使用シート」はリンクになっています。)

排水処理	工程	使用シート(リンク)	
○または×	貯蔵工程	貯	
	×	反応・混合工程	反①
		機械加工工程	機①
		洗浄工程	洗①
		塗装工程(溶剤)	塗(溶)①
		塗装工程(顔料)	塗(顔)①
		印刷工程(溶剤)	印(溶)①
		印刷工程(顔料)	印(顔)①
		接着工程(溶剤)	接(溶)①
		接着工程(添加剤)	接(添)
		めっき工程	め①
		染色工程(染料)	染(染)①
		染色工程(繊維処理剤)	染(織)①
		殺菌工程	殺菌①
その他溶剤等使用工程	溶①		
○	反応・混合工程	反②	
	機械加工工程	機②	
	洗浄工程	洗②	
	塗装工程(溶剤)	塗(溶)②	
	塗装工程(顔料)	塗(顔)②	
	印刷工程(溶剤)	印(溶)②	
	印刷工程(顔料)	印(顔)②	
	接着工程(溶剤)	接(溶)②	
	接着工程(添加剤)	接(添)	
	めっき工程	め②	
	染色工程(染料)	染(染)②	
	染色工程(繊維処理剤)	染(織)②	
	殺菌工程	殺菌②	
	その他溶剤等使用工程	溶②	

セルの色について

オレンジ色の項目はプルダウンで選択を、黄色の項目は数値を入力してください。(白色の項目は関数となっているため、入力不要です。)

**黄色セル: 使用者が入力(数値など)**

水域への排出量の算出		水溶解度を適用して算出する場合	
大気・水域の排出の少ない媒体の判定	排水中のBの濃度	排水量	水域への潜在排出量
U 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	mg/L V	m <sup>3</sup> /年 W	kg/年 X =V×W÷1000
水域	580	100	58
			kg/年 X

**白色セル: 関数による自動入力 (使用者は入力不要)**

**オレンジ色セル: プルダウン選択**

α →  
排ガス処理により  
水域へ排出される  
場合の記入欄  
(これ以降の欄も同様)

貯蔵工程用作業シート

この作業シートは、貯蔵工程における対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです。  
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-1貯蔵工程(pⅢ-6)の算出事例を参考にしてください。

白色:1.0  
銀色:1.2  
薄茶・クリーム色:1.33  
その他:1.46

排ガス処理がない場合:1R  
排ガス処理がある場合:1U  
を「大気への排出」として集計

移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

I 物性値を用いた計算による方法

通し番号	貯蔵する原料、製品や半製品等		原料、製品や半製品等に含まれる対象物質の物性値等					貯蔵タンクのサイズ等				大気への排出量の算出												
	原料、製品や半製品等の名称	原料、製品や半製品の年間搬入量 m <sup>3</sup>	1Aに含まれる対象物質名	1A中の1Cの含有率 %	1Cの分子量 g/mol	1Cの蒸気圧 Pa	タンク内での1Cの分圧 Pa	タンク内径 m	タンク容量 kL	タンク高さ m	平均貯蔵高さ m	年間平均外気温度差 ℃	タンク内圧力 Pa (絶対圧)	タンク色係数	タンク径係数	排ガス処理の有無	呼吸ロス kg/年	受入ロス kg/年	大気への潜在排出量 kg/年	排ガス処理の除去率 %	排ガス処理の分解率 %	大気への排出量 kg/年	処理により発生する廃棄物の名称	1Vの移動等の分類
	1A	1B	1C	1D	1E	1F	1G ※1	1H	1I	1J =1I×4÷ (1H <sup>2</sup> ×3.14)	1K	1L	1M	1N	1O	1P ※2	1Q ※3	1R =1P+1Q	1S	1T	1U =1R×(100-1S)÷100	1V	1W	1X =1R×(1S-1T)÷100
1										#DIV/0!					0.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				-		-
2										#DIV/0!					0.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				-		-
3										#DIV/0!					0.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				-		-
4										#DIV/0!					0.3	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				-		-

※1 1G = 1F × (1D ÷ 1E) ÷ [(1D ÷ 1E) + (1C以外の1Aの構成物質 α の含有率 ÷ 1C以外の1Aの構成物質 α の分子量) + (1C以外の1Aの構成物質 β の含有率 ÷ 1C以外の1Aの構成物質 β の分子量) + ...]

II 排出係数による方法

通し番号	貯蔵する原料、製品や半製品等		原料、製品や半製品等に含まれる対象物質の物性値等					対象物質の排出係数			大気への排出量の算出											
	原料、製品や半製品等の名称	原料、製品や半製品の年間搬入量 (or搬出・給油量) m <sup>3</sup> =kL	2Aに含まれる対象物質名	2A中の2Cの含有率 %	2Cの蒸気圧 Pa	タンク容量 kL	使用日数 日	2Cの排出係数 (呼吸ロス)	2Cの排出係数 (受入ロス)	2Cの排出係数 (払出または給油ロス)	排ガス処理の有無	呼吸ロス kg/年	受入ロス kg/年	払出または給油ロス kg/年	大気への潜在排出量 kg/年	排ガス処理の除去率 %	排ガス処理の分解率 %	大気への排出量 kg/年	処理により発生する廃棄物の名称	2Rの移動等の分類	2Rの廃棄物に含まれる量 kg/年	
	2A	2B 搬入 搬出または給油	2C	2D	2E	2F	2G	2H	2I	2J		2K =2G×2H	2L =2B×2I	2M =2B'×2J	2N =2K+2L+2M	2O	2P	2Q =2N× (100-2O) ÷100	2R	2S	2T =2N×(2O-2P)÷100	
1												0.00	0.00	0.00	0.00							-
2												0.00	0.00	0.00	0.00							-
3												0.00	0.00	0.00	0.00							-
4												0.00	0.00	0.00	0.00							-

排ガス処理がない場合:3F  
排ガス処理がある場合:3I  
を「大気への排出」として集計

III 物質収支による方法

通し番号	貯蔵する原料、製品や半製品等			原料、製品や半製品等に含まれる対象物質		大気への排出量の算出							
	原料、製品や半製品等の名称	原料、製品や半製品の年間取扱量 kg/年	原料、製品や半製品の年間搬出量 kg/年	3Aに含まれる対象物質名	3A中の3Dの含有率 %	3Jの移動等の分類	大気への潜在排出量 kg/年	排ガス処理の除去率 %	排ガス処理の分解率 %	大気への排出量 kg/年	処理により発生する廃棄物の名称	3Jの移動等の分類	3Jの廃棄物に含まれる量 kg/年
	3A	3B	3C	3D	3E		3F =(3B-3C)×3E÷100	3G	3H	3I =3F×(100-3G)÷100	3J	3K	3L =3F×(3G-3H)÷100
1							0						-
2							0						-
3							0						-
4							0						-

反応・混合等工程用作業シート

この作業シートは、反応・混合等工程における原料や製品や半製品の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-2反応・混合等工程(pⅢ-27)の算出事例を参考にしてください。

対象物質を原料として別の物質を製造している場合は、  
 反応率を用いるなどして、反応により消費される量を算出してください。

廃剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
 使用原料または製品中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量等の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出				対象物質の環境への最大潜在排出量の算出			
対象物質を含む原料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のB(B')の含有率 % E	B'からBへの換算係数 F	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 G =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 H (Gの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 I	Iの製造量 kg/年 J	I中のB(B')の含有率 % K	I中のBの製品や半製品としての搬出量等 kg/年 L =J×K×F÷100	Bの製品や半製品としての搬出量等の合計 kg/年 M (Lの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 N	Nの発生量 kg/年 O	N中のB(B')の含有率 % P	Nの移動等の分類 Q	N中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 R =O×P×F÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 S (Rの合計)	対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
																				Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 T =H-M-S
混合							0	0				0	0					0	0	0
							0					0						0	0	0
							0					0						0	0	0
							0					0						0	0	0

#### 水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定  
U  
排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水溶解度を用いて算出する場合  
排水中のBの濃度 mg/L V  
排水量 m<sup>3</sup>/年 W  
水域への潜在排出量 kg/年 X  
X = V × W ÷ 1000

①排水処理を行っていない場合  
水域への排出量 = X  
0  
排ガス処理により水域へ排出される量 = X'  
XまたはX'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

②排水処理を行っている場合  
排水処理による除去率 Y %  
排水処理による分解率 Z %  
水域への処理後の排出量 kg/年 AA  
処理による分解量 kg/年 AB  
= X × (100 - Y) ÷ 100  
= X × Z ÷ 100

②-1 排水処理により大気へ排出される場合  
排水処理により大気へ排出される量 kg/年 AC  
= X × (Y - Z) ÷ 100  
→ AG'(β)へ記入

②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合  
排水処理で発生する廃棄物の名称 AD  
AD中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AE  
= X × (Y - Z) ÷ 100  
ADの移動等の分類 AF

排水中の濃度を測定している場合、  
実測値を記入してください。

α → 排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同)

#### 大気への排出量の算出

大気への潜在排出量 kg/年 AG ※

※「大気への潜在排出量AG」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出  
① : AG = T - X

①排ガス処理を行っていない場合  
大気への排出量 = AG  
0  
排水処理により大気へ排出される量 = AG'  
排ガス処理がない場合 : AG  
排ガス処理がある場合 : AJ  
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合  
排ガス処理による除去率 AH %  
排ガス処理による分解率 AI %  
大気への処理後の排出量 kg/年 AJ  
= AG × (100 - AH) ÷ 100  
処理による分解量 kg/年 AK  
= AG × AI ÷ 100

②-1 排ガス処理により水域へ排出される場合  
排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AL  
= AG × (AH - AI) ÷ 100  
→ X'(α)へ記入

②-2 排ガス処理から廃棄物が発生する場合  
排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AM  
AM中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AN  
= AG × (AH - AI) ÷ 100  
AMの移動等の分類 AO

ANを移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

反応・混合等工程用作業シート

この作業シートは、反応・混合等工程における原料や製品や半製品の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-2反応・混合等工程(pⅢ-27)の算出事例を参考にしてください。

対象物質を原料として別の物質を製造している場合は、  
 反応率を用いるなどして、反応により消費される量を算出してください。

廃剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
 使用原料または製造品中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出			
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のB(B')の含有率 % E	B'からBへの換算係数 F	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 G =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 H (Gの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 I	Iの製造量 kg/年 J	I中のB(B')の含有率 % K	I中のBの製品や半製品としての搬出量等 kg/年 L =J×K×F÷100	Bの製品や半製品としての搬出量等の合計 kg/年 M (Lの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 N	Nの発生量 kg/年 O	N中のB(B')の含有率 % P	Nの移動等の分類 Q	N中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 R =O×P×F÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 S (Rの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 T =H-M-S
				混合							0	0				0	0			
							0					0						0		
							0					0						0		
							0					0						0		

**水域への排出量の算出**

大気・水域の排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

U 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水溶解度を用いて算出する場合  
 排水中のBの濃度 mg/L V  
 排水量 m<sup>3</sup>/年 W  
 水域への潜在排出量 kg/年 X  
 $X = V \times W \div 1000$

①排水処理を行っていない場合  
 水域への排出量 = X  
 排ガス処理により水域へ排出される量 = X'

AAまたはAA'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

②排水処理を行っている場合  
 排水処理による除去率 % Y  
 排水処理による分解率 % Z  
 水域への処理後の排出量 kg/年 AA  
 $AA = X \times (100 - Y) \div 100$   
 処理による分解量 kg/年 AB  
 $AB = X \times Z \div 100$

②-1 排水処理により大気へ排出される場合  
 排水処理により大気へ排出される量 kg/年 AC  
 $AC = X \times (Y - Z) \div 100$   
 → AG(β)へ記入

②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合  
 排水処理で発生する廃棄物の名称 AD  
 AD中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AE  
 $AE = X \times (Y - Z) \div 100$   
 ADの移動等の分類 AF

AEまたはAEを移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

**大気への排出量の算出**

大気への潜在排出量 kg/年 AG ※

※「大気への潜在排出量AG」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出  
 ②-1: AG=T-AA-AB-AC  
 ②-2: AG=T-AA-AB-AE

①排ガス処理を行っていない場合  
 大気への排出量 = AG  
 排水処理により大気へ排出される量 = AG'

排ガス処理がない場合: AGまたはAG'  
 排ガス処理がある場合: AJまたはAJ'を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合  
 排ガス処理による除去率 % AH  
 排ガス処理による分解率 % AI  
 大気への処理後の排出量 kg/年 AJ  
 $AJ = AG \times (100 - AH) \div 100$   
 処理による分解量 kg/年 AK  
 $AK = AG \times AI \div 100$

②-1 排ガス処理により水域へ排出される場合  
 排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AL  
 $AL = AG \times (AH - AI) \div 100$   
 → X'(α)へ記入

②-2 排ガス処理から廃棄物が発生する場合  
 排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AM  
 AM中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AN  
 $AN = AG \times (AH - AI) \div 100$   
 AMの移動等の分類 AO

ANまたはANを移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入してください。

α → 排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄 (これ以降の欄も同)

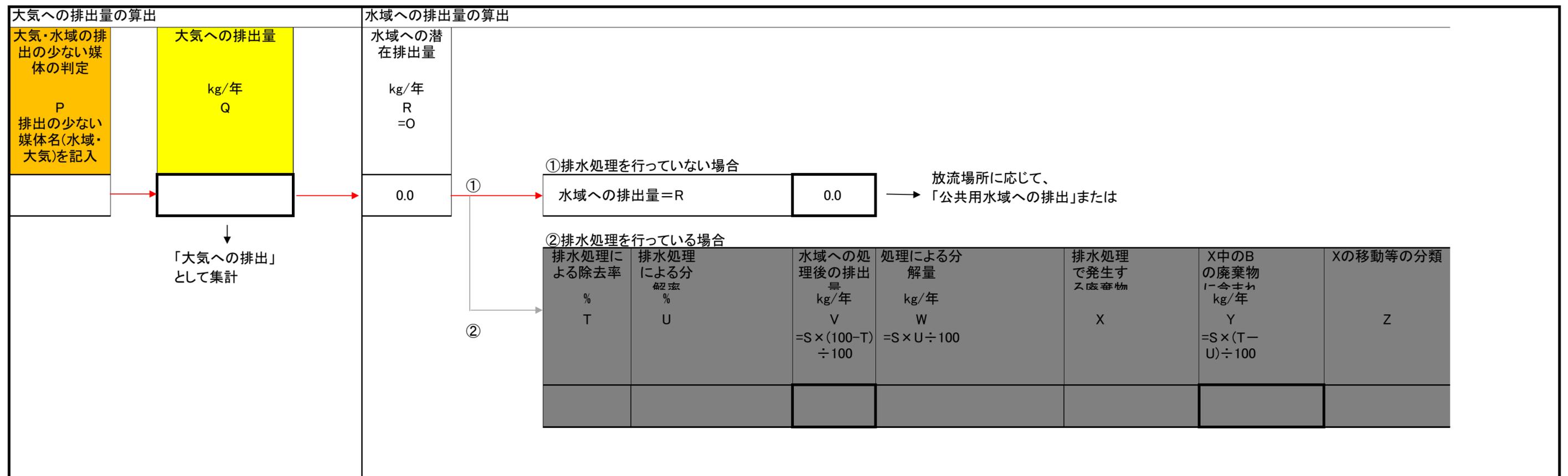
β → 排水処理により大気へ排出される場合の記入欄 (これ以降の欄も同様)

機械加工工程用作業シート

この作業シートは、機械加工工程における切削油等に含まれる添加剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-3機械加工工程(pⅢ-53)の算出事例を参考にしてください。

廃切削剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
 使用切削剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名称	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
機械加工					0	0	0					0	0	0.0
					0		0					0	→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	
					0		0					0		
					0		0					0		



機械加工工程用作業シート

この作業シートは、機械加工工程における切削油等に含まれる添加剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-3機械加工工程(pⅢ-53)の算出事例を参考にしてください。

廃切削剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
 使用切削剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名称	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
機械加工					0	0						0	0	0.0
					0							0	→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	
					0							0		
					0							0		

大気への排出量の算出		水域への排出量の算出												
大気・水域の排出の少ない媒体の判定	大気への排出量	水域への潜在排出量												
P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	kg/年 Q	kg/年 R =0	①排水処理を行っていない場合					②排水処理を行っている場合						
		0.0	水域への排出量=S					排水処理による除去率	排水処理による分解率	水域への処理後の排出量	処理による分解量	排水処理で発生する廃棄物の名称	W中のBの廃棄物に含まれる量	Wの移動等の分類
	↓ 「大気への排出」として集計			% S	% T	kg/年 U =R×(100-S)÷100	kg/年 V =R×T÷100	W	X =R×(S-T)÷100	Y				
				0	0	-	-	-	-	-				

放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または

移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

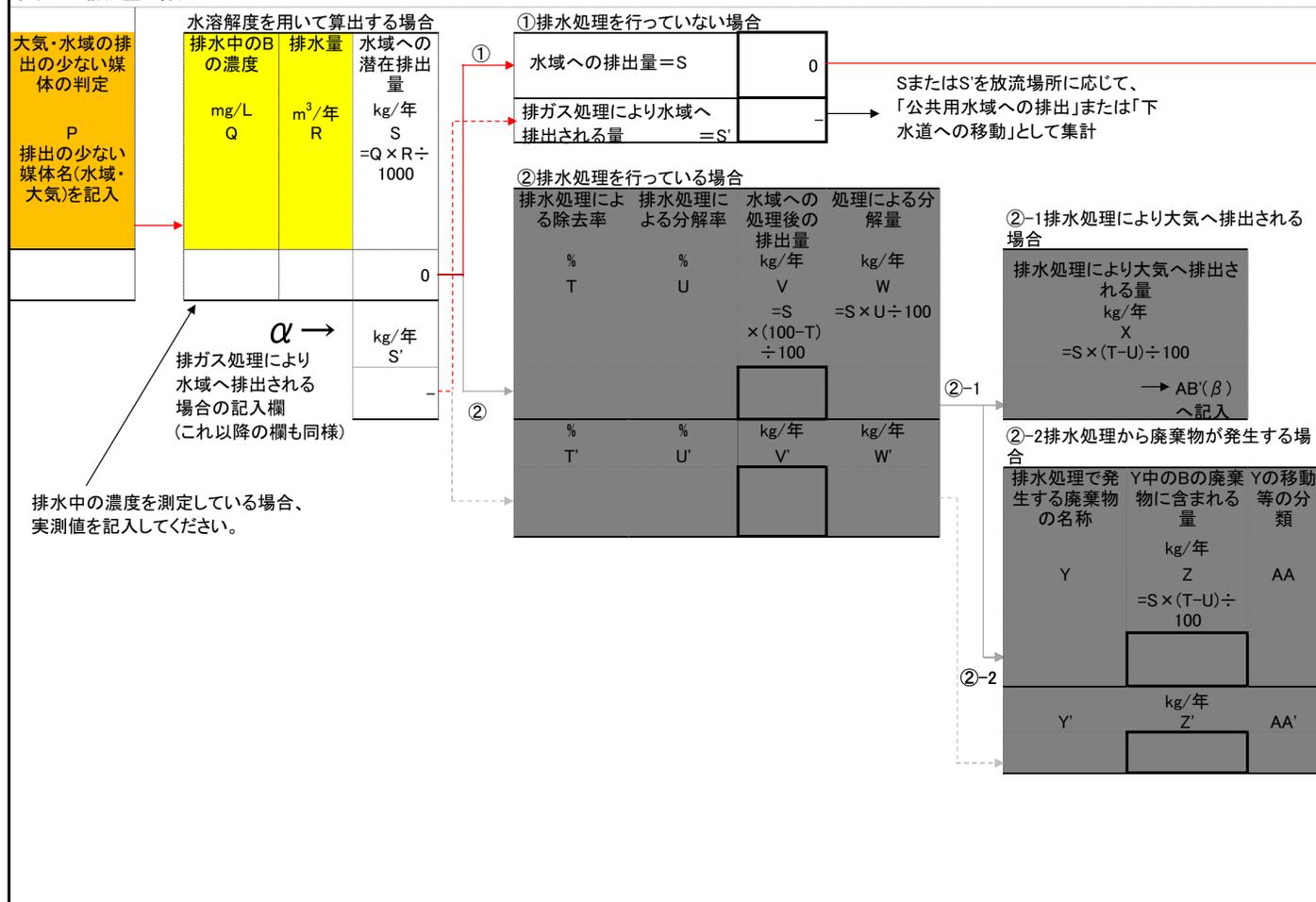
洗浄工程用作業シート

この作業シートは、洗浄工程における洗浄剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-4洗浄工程(pⅢ-57)の算出事例を参考にしてください。

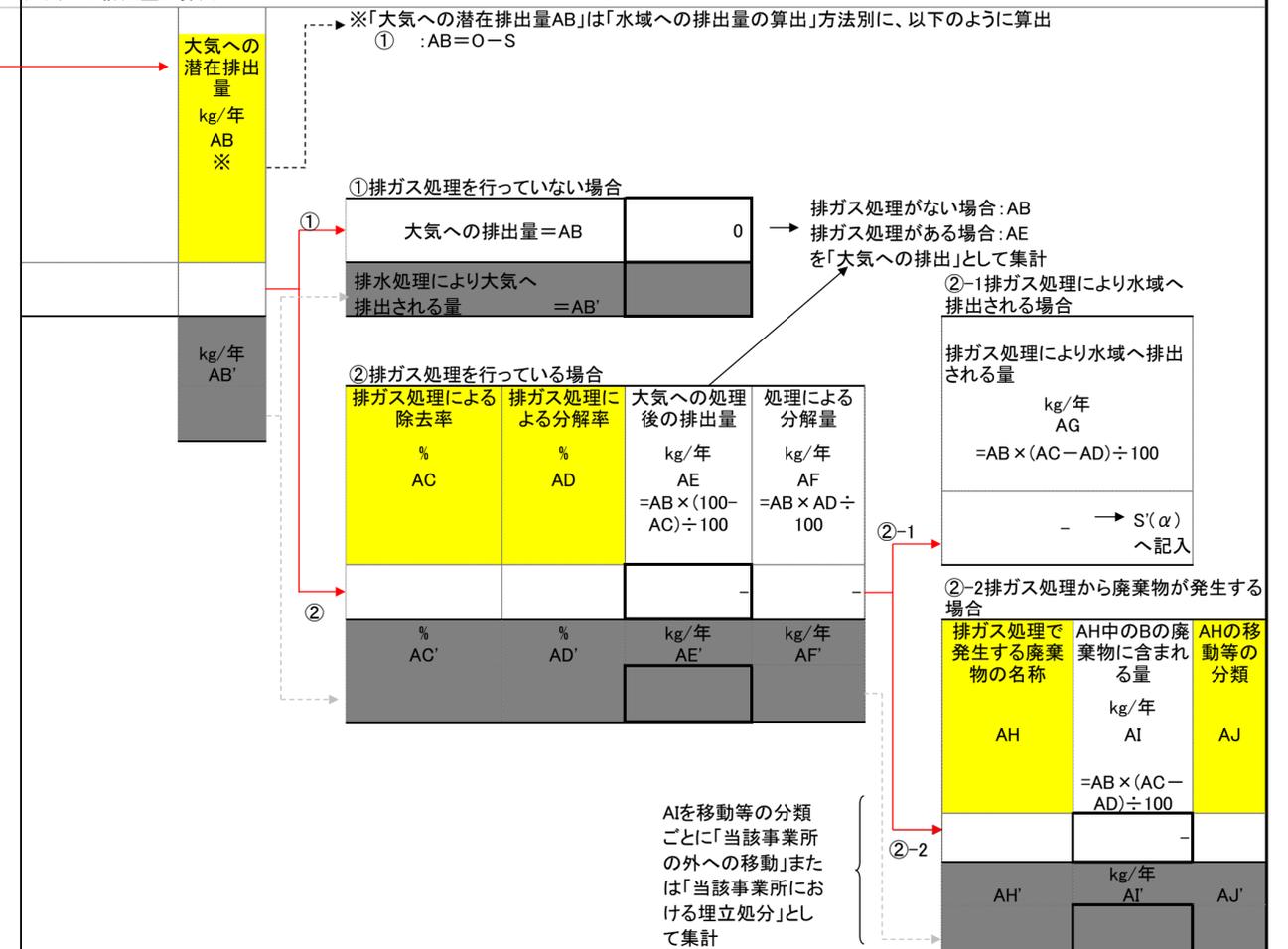
- ①廃洗浄剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、洗浄剤中の対象物質の含有率を用いてください。
- ②ウエス等が発生する場合は、洗浄剤を含んだウエスの重量と洗浄剤を含まないウエスの重量との差を用いるなどして算出してください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出				対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出			対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
洗浄					0	0						0	0	0
					0							0	→移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計	

水域への排出量の算出



大気への排出量の算出



AIを移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

洗浄工程用作業シート

この作業シートは、洗浄工程における洗浄剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-4洗浄工程(pⅢ-57)の算出事例を参考にしてください。

- ①廃洗浄剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、洗浄剤中の対象物質の含有率を用いてください。
- ②ウエス等が発生する場合は、洗浄剤を含んだウエスの重量と洗浄剤を含まないウエスの重量との差を用いるなどして算出してください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出			対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量	
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N	
洗浄						0	0					0	0	0	
						0						0			
						0						0			
						0						0			

#### 水域への排出量の算出

水溶解度を用いて算出する場合

排水中のBの濃度	排水量	水域への潜在排出量
mg/L Q	m <sup>3</sup> /年 R	kg/年 S =Q×R÷1000

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量=S	0
排水ガス処理により水域へ排出される量=S'	

VまたはV'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率	排水処理による分解率	水域への処理後の排出量	処理による分解量
% T	% U	kg/年 V =S×(100-T)÷100	kg/年 W =S×U÷100

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 X	kg/年 X =S×(T-U)÷100
→ AB'(β) へ記入	

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称	Y中のBの廃棄物に含まれる量	Yの移動等の分類
Y	kg/年 Z =S×(T-U)÷100	AA
Y'	kg/年 Z'	AA'

ZまたはZ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

#### 大気への排出量の算出

※「大気への潜在排出量AB」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出

②-1: AB=O-V-W-X  
②-2: AB=O-V-W-Z

①排水処理を行っていない場合

大気への排出量=AB	0
排水処理により大気へ排出される量=AB'	

排水ガス処理がない場合: ABまたはACB  
排水ガス処理がある場合: AEまたはAE'  
を「大気への排出」として集計

②排水処理を行っている場合

排水ガス処理による除去率	排水ガス処理による分解率	大気への処理後の排出量	処理による分解量
% AC	% AD	kg/年 AE =AB×(100-AC)÷100	kg/年 AF =AB×AD÷100

②-1排水ガス処理により水域へ排出される場合

排水ガス処理により水域へ排出される量 AG	kg/年 AG =AB×(AC-AD)÷100
→ S'(α) へ記入	

②-2排水ガス処理から廃棄物が発生する場合

排水ガス処理で発生する廃棄物の名称	AH中のBの廃棄物に含まれる量	AHの移動等の分類
AH	kg/年 AI =AB×(AC-AD)÷100	AJ
AH'	kg/年 AI'	AJ'

AIまたはAI'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気・水域の排出の少ない媒体の判定

P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

α → kg/年 S'

排水ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入してください。

β → kg/年 AB'

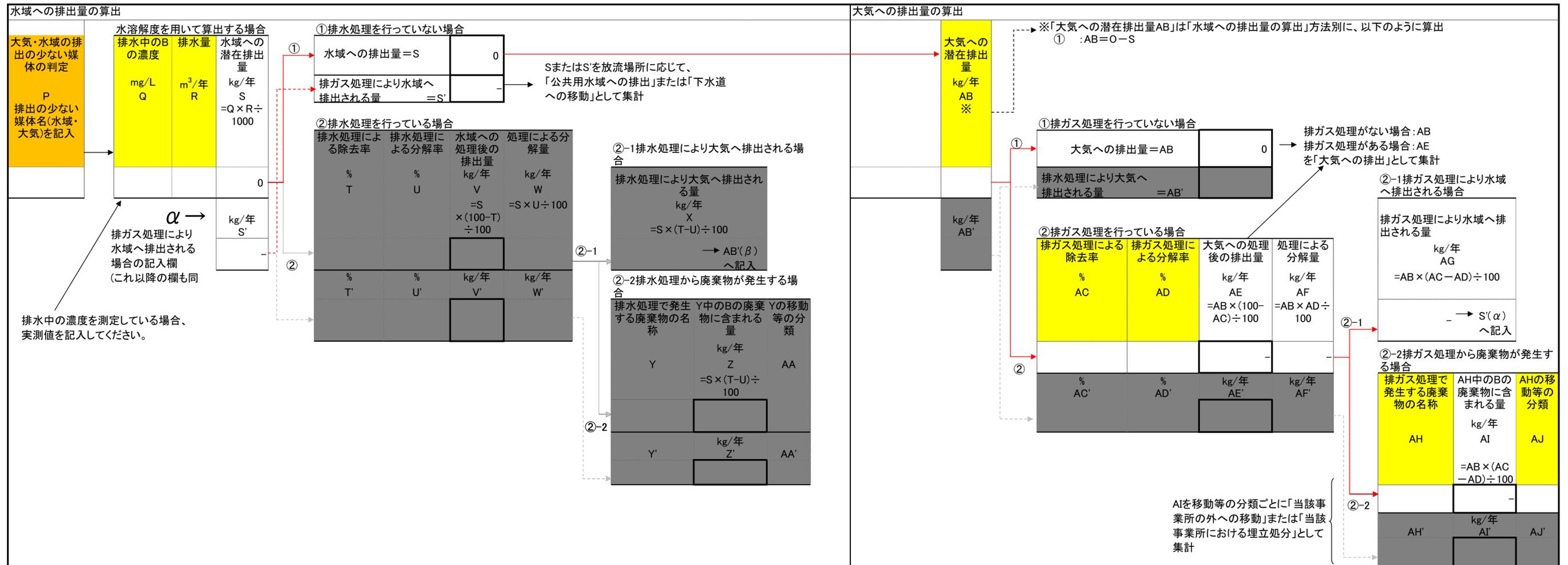
排水処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)

塗装工程(溶剤)作業シート

この作業シートは、塗装工程における塗料に含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-5塗装工程(pⅢ-72)の算出事例を参考にしてください。

廃塗料中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
使用塗料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量			
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N			
塗装					0	0	0					0	0	0			
					0							0					
					0							0					
					0							0					



塗装工程(溶剤)作業シート

この作業シートは、塗装工程における塗料に含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-5塗装工程(pⅢ-72)の算出事例を参考にしてください。

廃塗料中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
使用塗料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出		
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
塗装					0	0						0	0	0
					0							0		
					0							0		
					0							0		

水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定  
P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水溶解度を用いて算出する場合  
排水中のBの濃度 mg/L Q  
排水量 m<sup>3</sup>/年 R  
水域への潜在排出量 kg/年 S  
S = Q × R ÷ 1000

①排水処理を行っていない場合  
水域への排出量 = S  
排水ガス処理により水域へ排出される量 = S'

②排水処理を行っている場合  
排水処理による除去率 % T  
排水処理による分解率 % U  
水域への処理後の排出量 kg/年 V  
処理による分解量 kg/年 W  
V = S × (100 - T) ÷ 100  
W = S × U ÷ 100

VまたはV'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

②-1排水処理により大気へ排出される場合  
排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X  
X = S × (T - U) ÷ 100  
→ AB'(β) へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合  
排水処理で発生する廃棄物の名称 Y  
Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z  
Z = S × (T - U) ÷ 100  
Yの移動等の分類 AA

ZまたはZ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

大気への排出量の算出

※「大気への潜在排出量AB」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出  
②-1: AB = O - V - W - X  
②-2: AB = O - V - W - Z

大気への潜在排出量 kg/年 AB ※

①排ガス処理を行っていない場合  
大気への排出量 = AB  
排水処理により大気へ排出される量 = AB'

排ガス処理がない場合: ABまたはAB'  
排ガス処理がある場合: AEまたはAE'  
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合  
排ガス処理による除去率 % AC  
排ガス処理による分解率 % AD  
大気への処理後の排出量 kg/年 AE  
処理による分解量 kg/年 AF  
AE = AB × (100 - AC) ÷ 100  
AF = AB × AD ÷ 100

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合  
排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AG  
AG = AB × (AC - AD) ÷ 100  
→ S'(α) へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合  
排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AH  
AH中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AI  
AHの移動等の分類 AJ  
AI = AB × (AC - AD) ÷ 100

AIまたはAI'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

排水処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入してください。

α → kg/年 S'  
β → kg/年 AB'

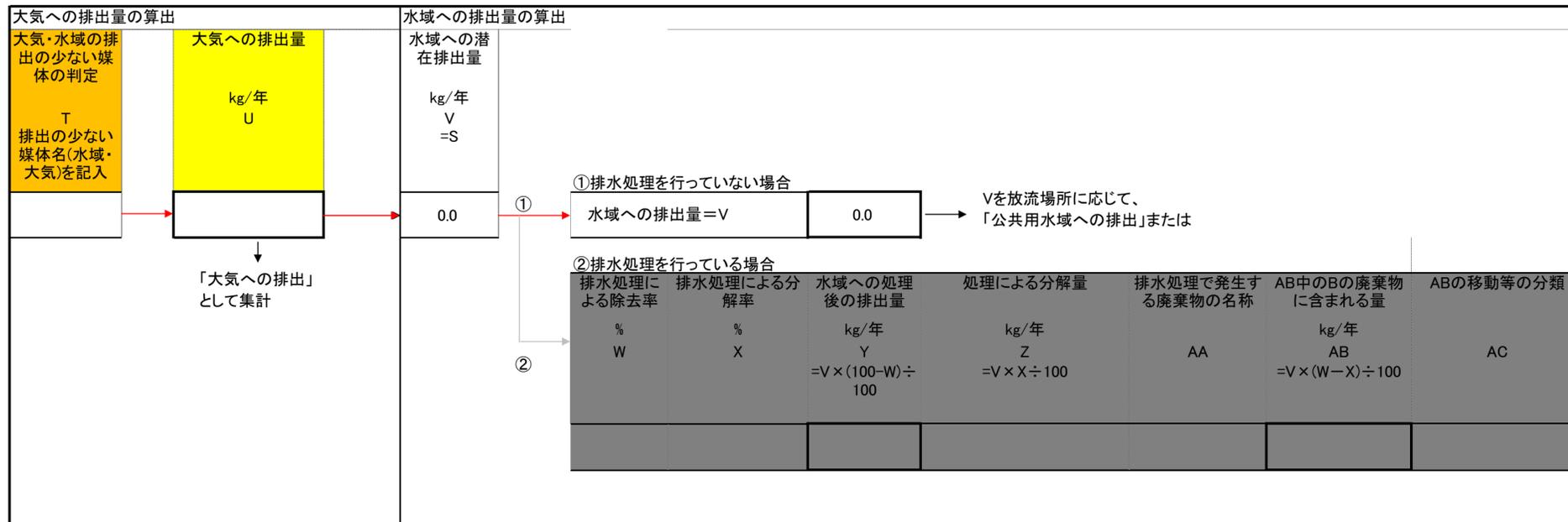
塗装工程(顔料)用作業シート

この作業シートは、塗装工程における塗料に含まれる金属化合物等の顔料の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。 製造品中の含有率がわからない場合は、①塗装面積×塗膜厚×塗膜中の対象物質含有率  
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-5塗装工程(pⅢ-72)の算出事例を参考にしてください。

②塗着効率×対象物質の取扱量  
などの方法で算出してください。(塗着効率は「排出量等算出マニュアル第Ⅲ部」4-3-6(pⅢ-371)参照)

廃塗料中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
使用塗料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bが物質群の場合の個別物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるB(B')の年間取扱量	Bの年間取扱量	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称	Hの製造量	H中のBの含有率	H中のBの製品や半製品としての搬出量	Bの製品や半製品としての搬出量の合計	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Mの発生量	M中のBの含有率	Mの移動等の分類	M中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	B'	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	H	kg/年 I	% J	kg/年 K =I×J÷100	kg/年 L (Kの合計)	M	kg/年 N	% O	P	kg/年 Q =N×O÷100	kg/年 R (Qの合計)	kg/年 S =G-L-R
塗装						0	0				0.0	0.0					0	0	0.0
						0					0.0						0		
						0					0.0						0		
						0					0.0						0		
						0					0.0						0		



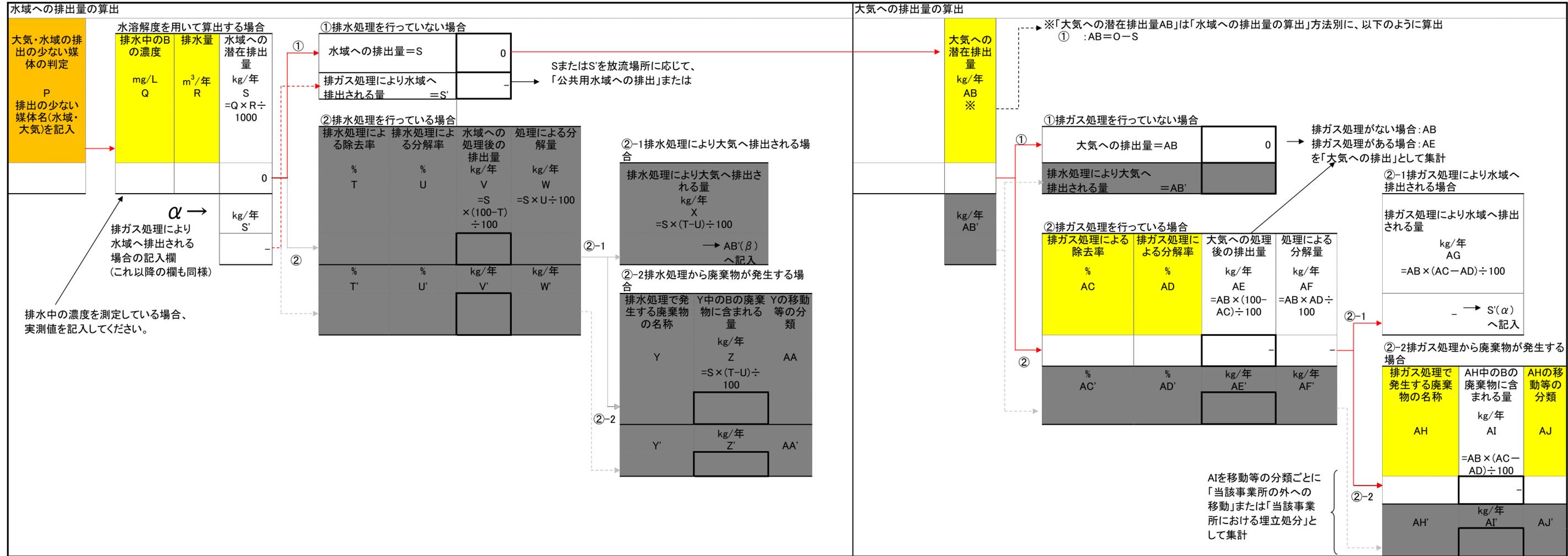


印刷工程(溶剤)用作業シート

この作業シートは、印刷工程における印刷インキに含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-6印刷工程(pⅢ-78)の算出事例を参考にしてください。

廃インキ中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用インキ中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出			対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名称	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
印刷						0						0	0	0
						0						0	0	0
						0						0	0	0
						0						0	0	0



印刷工程(溶剤)用作業シート

この作業シートは、印刷工程における印刷インキに含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-6印刷工程(pⅢ-78)の算出事例を参考にしてください。

廃インキ中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用インキ中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称	対象物質の年間取扱量の算出						対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名称 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製品や半製品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
印刷					0	0						0	0	0
					0							0		
					0							0		
					0							0		

### 水域への排出量の算出

水溶解度を用いて算出する場合

大気・水域の排出の少ない媒体の判定 P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入	排水中のBの濃度 mg/L Q	排水量 m <sup>3</sup> /年 R	水域への潜在排出量 kg/年 S =Q×R÷1000
			0

α → 排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入してください。

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量 = S	
排水処理により水域へ排出される量 = S'	

VまたはV'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率 %	排水処理による分解率 %	水域への処理後の排出量 kg/年 V =S×(100-T)÷100	処理による分解量 kg/年 W =S×U÷100
T	U		
T'	U'	kg/年 V'	kg/年 W'

②-1 排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X =S×(T-U)÷100	
→ AB'(β)へ記入	

②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称 Y	Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z =S×(T-U)÷100	Yの移動等の分類 AA
Y'	kg/年 Z'	AA'

ZまたはZ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

### 大気への排出量の算出

※「大気への潜在排出量AB」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出

②-1: AB=O-V-W-X  
②-2: AB=O-V-W-Z

大気への潜在排出量 kg/年 AB ※

β → 排水処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量 = AB	0
排水処理により大気へ排出される量 = AB'	

排ガス処理がない場合: ABまたはAB'  
排ガス処理がある場合: AEまたはAE'を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率 %	排ガス処理による分解率 %	大気への処理後の排出量 kg/年 AE =AB×(100-AC)÷100	処理による分解量 kg/年 AF =AB×AD÷100
AC	AD		
AC'	AD'	kg/年 AE'	kg/年 AF'

②-1 排ガス処理により水域へ排出される場合

排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AG =AB×(AC-AD)÷100	
→ S'(α)へ記入	

②-2 排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AH	AH中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AI =AB×(AC-AD)÷100	AHの移動等の分類 AJ
AH'	kg/年 AI'	AJ'

AIまたはAI'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

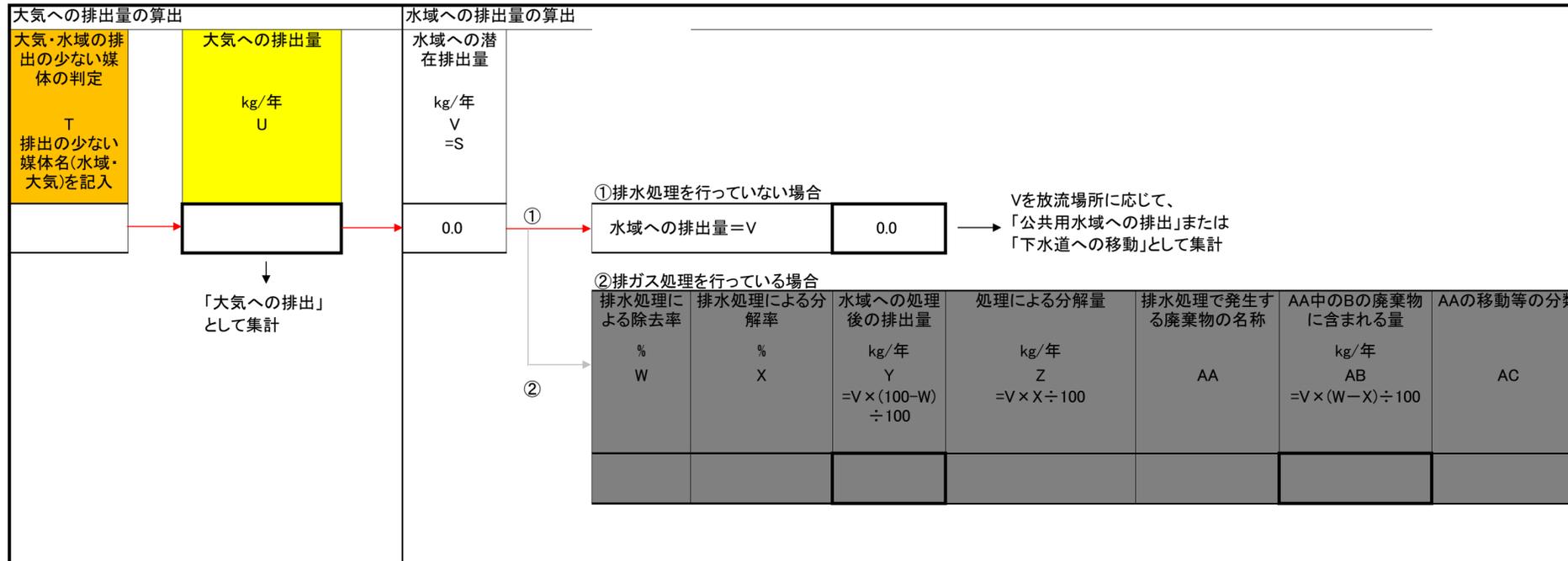
印刷工程(顔料)用作業シート

この作業シートは、印刷工程における印刷インキに含まれる金属化合物等の顔料の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-6印刷工程(pⅢ-78)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、  
物質収支などの方法で算出してください。

廃印刷インキ中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
使用印刷インキ中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 H	Hの製造量 kg/年 I	H中のBの含有率 % J	H中のBの製品や半製品としての搬出量 kg/年 K =I×J÷100	Bの製品や半製品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 M	Mの発生量 kg/年 N	M中のBの含有率 % O	Mの移動等の分類 P	M中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Q =N×O÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 R (Qの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 S =G-L-R
印刷						0	0				0	0					0	0	0
						0					0						0		
						0					0						0		
						0					0						0		
						0					0						0		



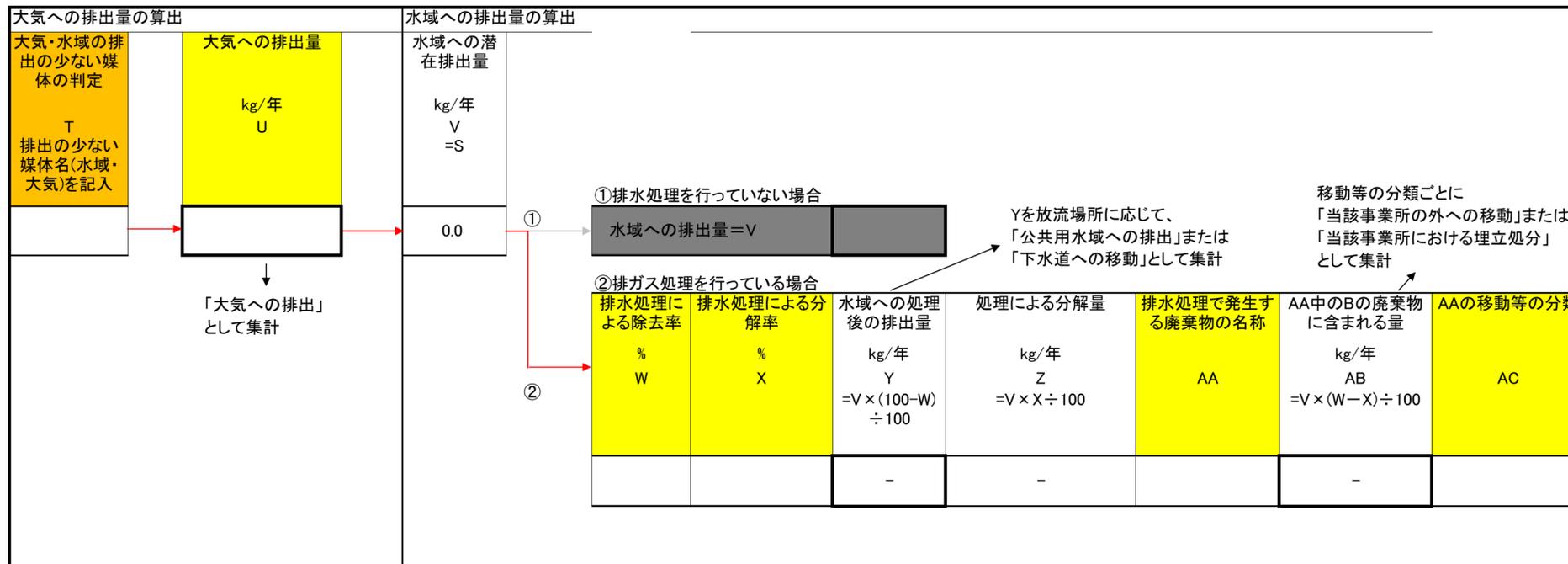
印刷工程(顔料)用作業シート

この作業シートは、印刷工程における印刷インキに含まれる金属化合物等の顔料の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-6印刷工程(pⅢ-78)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、  
物質収支などの方法で算出してください。

廃印刷インキ中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
使用印刷インキ中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 D kg/年	C中のBの含有率 E %	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 F kg/年 =D×E÷100	Bの年間取扱量 G kg/年 (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 H	Hの製造量 I kg/年	H中のBの含有率 J %	H中のBの製品や半製品としての搬出量 K kg/年 =I×J÷100	Bの製品や半製品としての搬出量の合計 L kg/年 (Kの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 M	Mの発生量 N kg/年	M中のBの含有率 O %	Mの移動等の分類 P	M中のBの廃棄物に含まれる量 Q kg/年 =N×O÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 R kg/年 (Qの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 S kg/年 =G-L-R
印刷						0	0				0	0					0	0	0
						0					0						0		
						0					0						0		
						0					0						0		



接着工程(溶剤)用作業シート

この作業シートは、接着工程における接着剤に含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-7接着工程(pⅢ-89)の算出事例を参考にしてください。

廃接着剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
 使用接着剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出			対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量	
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N	
接着					0	0	0					0	0	0	
					0							0			
					0							0			
					0							0			

### 水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定  
 P 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

排水中のBの濃度	排水量	水域への潜在排出量
mg/L Q	m <sup>3</sup> /年 R	kg/年 S =Q×R÷1000
		0

① 排水処理を行っていない場合  
 水域への排出量 = S  
 排水処理により水域へ排出される量 = S'

② 排水処理を行っている場合

排水処理による除去率	排水処理による分解率	水域への処理後の排出量	処理による分解量
% T	% U	kg/年 V =S×(100-T)÷100	kg/年 W =S×U÷100

②-1 排水処理により大気へ排出される場合  
 排水処理により大気へ排出される量 X  
 =S×(T-U)÷100  
 → AB'(β) へ記入

②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称	Y中のBの廃棄物に含まれる量	Yの移動等の分類
Y	kg/年 Z =S×(T-U)÷100	AA

②-2-1 Y中のBの廃棄物に含まれる量 Z'  
 =S×(T'-U')÷100  
 → AB'(β) へ記入

②-2-2 Yの移動等の分類 AA'  
 → S'(α) へ記入

### 大気への排出量の算出

※「大気への潜在排出量AB」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出  
 ① : AB=0-S

大気への潜在排出量	kg/年 AB ※

① 排ガス処理を行っていない場合  
 大気への排出量 = AB  
 排水処理により大気へ排出される量 = AB'

② 排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率	排ガス処理による分解率	大気への処理後の排出量	処理による分解量
% AC	% AD	kg/年 AE =AB×(100-AC)÷100	kg/年 AF =AB×AD÷100

②-1 排ガス処理により水域へ排出される場合  
 排ガス処理により水域へ排出される量 AG  
 =AB×(AC-AD)÷100  
 → S'(α) へ記入

②-2 排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称	AH中のBの廃棄物に含まれる量	AHの移動等の分類
AH	kg/年 AI =AB×(AC-AD)÷100	AJ

②-2-1 AIを移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入してください。

α → kg/年 S'

β → AB'(β) へ記入

AIを移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

接着工程(溶剤)用作業シート

この作業シートは、接着工程における接着剤に含まれる揮発性の溶剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-7接着工程(pⅢ-89)の算出事例を参考にしてください。

廃接着剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
使用接着剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出			対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
接着					0	0	0					0	0	0
					0							0		
					0							0		
					0							0		

**水域への排出量の算出**

水溶解度を用いて算出する場合  
 排水中のBの濃度 (mg/L Q) × 排水量 (m³/年 R) = 水域への潜在排出量 (kg/年 S) = Q × R ÷ 1000

①排水処理を行っていない場合  
 水域への排出量 = S  
 排水処理により水域へ排出される量 = S'

②排水処理を行っている場合  
 排水処理による除去率 (T%) × 排水処理による分解率 (U%) × 水域への処理後の排出量 (kg/年 V) = 処理による分解量 (kg/年 W) = S × U ÷ 100  
 排水処理により大気へ排出される量 (kg/年 X) = S × (T-U) ÷ 100  
 ②-1 排水処理により大気へ排出される場合 → AB'(β) へ記入  
 ②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合  
 排水処理で発生する廃棄物の名称 (Y) × Y中のBの廃棄物に含まれる量 (kg/年 Z) = S × (T-U) ÷ 100  
 Yの移動等の分類 (AA)  
 Y' (kg/年 Z') → AA' へ記入

VまたはV'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

ZまたはZ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

**大気への排出量の算出**

※「大気への潜在排出量AB」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出  
 ②-1: AB=O-V-W-X  
 ②-2: AB=O-V-W-Z

①排ガス処理を行っていない場合  
 大気への排出量 = AB  
 排水処理により大気へ排出される量 = AB'

②排ガス処理を行っている場合  
 排ガス処理による除去率 (AC%) × 排ガス処理による分解率 (AD%) × 大気への処理後の排出量 (kg/年 AE) = 処理による分解量 (kg/年 AF) = AB × AD ÷ 100  
 大気への処理後の排出量 (kg/年 AE) = AB × (100-AC) ÷ 100  
 ②-1 排ガス処理により水域へ排出される場合 → S'(α) へ記入  
 ②-2 排ガス処理から廃棄物が発生する場合  
 排ガス処理で発生する廃棄物の名称 (AH) × AH中のBの廃棄物に含まれる量 (kg/年 AI) = AB × (AC-AD) ÷ 100  
 AHの移動等の分類 (AJ)  
 AH' (kg/年 AI') → AJ' へ記入

AIまたはAI'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

排水処理により大気へ排出される場合の記入欄 (これ以降の欄も同様)

排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄 (これ以降の欄も同様)

α → 排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄 (これ以降の欄も同様)

β → 排水処理により大気へ排出される場合の記入欄 (これ以降の欄も同様)

排水水中の濃度を測定している場合、実測値を記入してください。

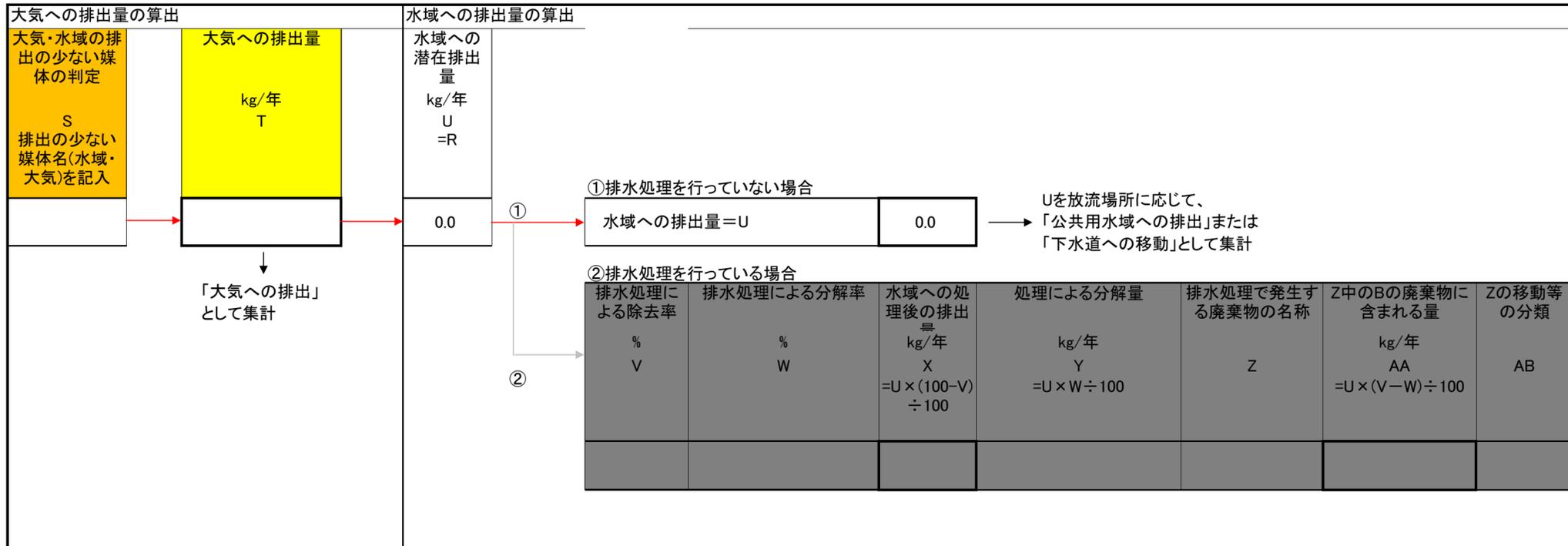
接着工程(添加剤)作業シート

この作業シートは、接着工程における接着剤に含まれる添加剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-7接着工程(pⅢ-89)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の対象物質を接着面積×塗膜中含含有率などの方法で算出してください。

廃接着剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用接着剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出				対象物質の環境への最大潜在排出量の算出		
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 H	製品や半製品としての搬出量の算出式 I	H中のBの製品や半製品としての搬出量 kg/年 J	Bの製品や半製品としての搬出量の合計 kg/年 K (Jの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 L	Lの発生量 kg/年 M	L中のBの含有率 % N	Lの移動等の分類 O	L中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 P =M×N÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 Q (Pの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 R =G-K-Q
接着					0	0			0.0						0.0	0.0	0.0
					0										0.0		
					0										0.0		
					0										0.0		



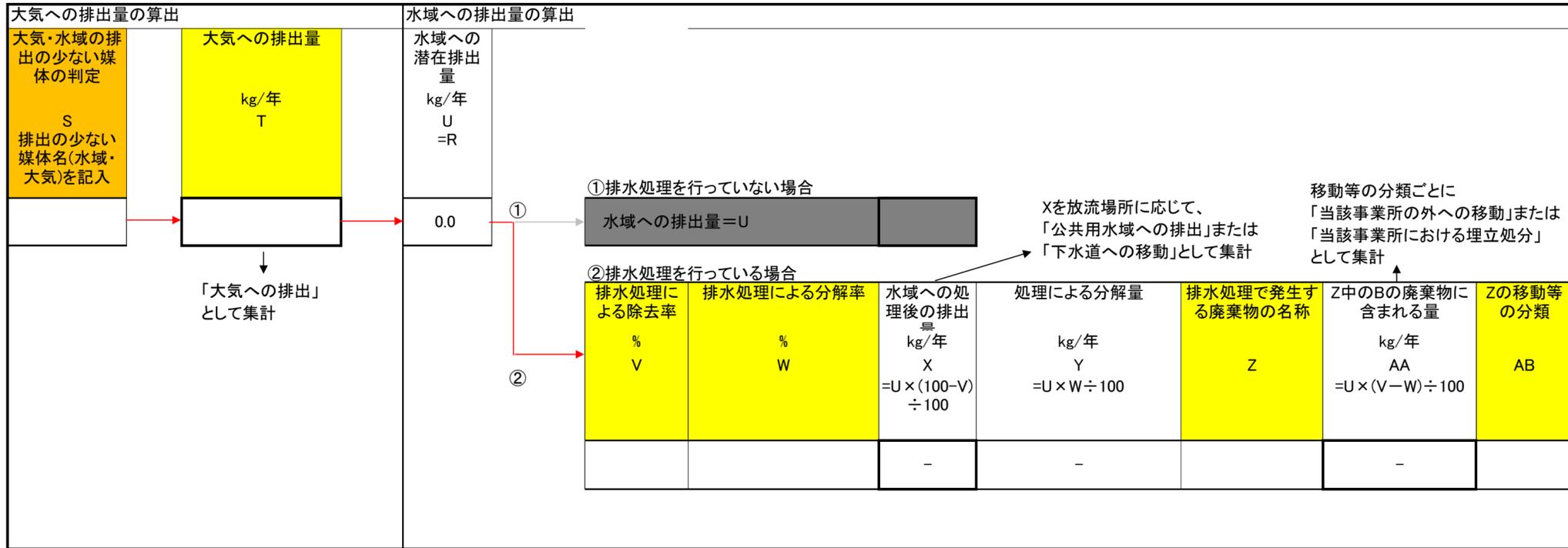
接着工程(添加剤)作業シート

この作業シートは、接着工程における接着剤に含まれる添加剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-7接着工程(pⅢ-89)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の対象物質を接着面積×塗膜中含含有率などの方法で算出してください。

廃接着剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用接着剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 H	製品や半製品としての搬出量の算出式 I	H中のBの製品や半製品としての搬出量 kg/年 J	Bの製品や半製品としての搬出量の合計 kg/年 K (Jの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 L	Lの発生量 kg/年 M	L中のBの含有率 % N	Lの移動等の分類 O	L中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 P =M×N÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 Q (Pの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 R =G-K-Q
接着					0	0			0.0						0.0	0.0	0.0
					0										0.0		
					0										0.0		
					0										0.0		



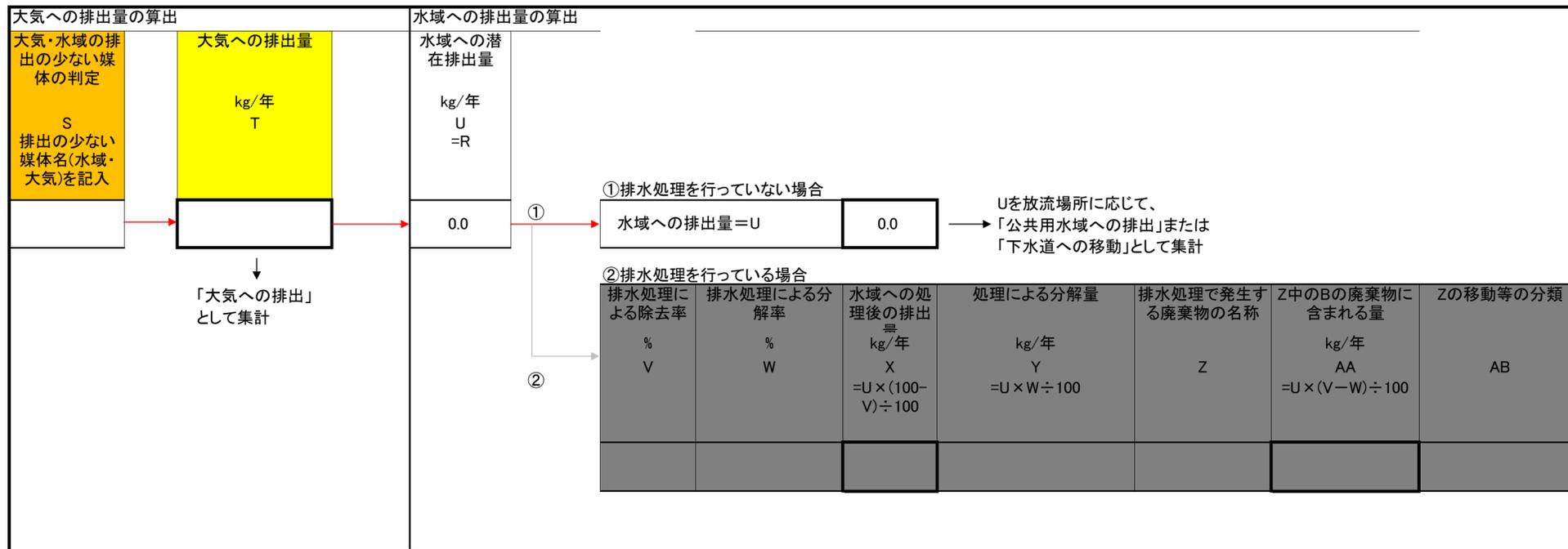
めっき工程用作業シート

この作業シートは、めっき工程におけるめっき液に含まれる金属化合物等の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-8めっき工程(pⅢ-99)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の対象物質を①めっき厚さ×めっき面積×金属化合物の密度  
②電流×めっき時間×電気化学当量×電流効率  
などの方法で算出してください。  
(電流効率は「排出量等算出マニュアル第Ⅲ部 14-3-7(pⅢ-372)参照」)

廃めっき液中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
使用めっき液中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出						対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出				対象物質の環境への最大潜在排出量の算出		
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 H	製品や半製品としての搬出量の算出式 I	H中のBの製品や半製品としての搬出量 kg/年 J	Bの製品や半製品としての搬出量の合計 kg/年 K (Jの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 L	Lの発生量 kg/年 M	L中のBの含有率 % N	Lの移動等の分類 O	L中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 P =M×N÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 Q (Pの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 R =G-K-Q
めっき						0.0	0.0				0					0	0	0.0
						0.0										0		
						0.0										0		
						0.0										0		



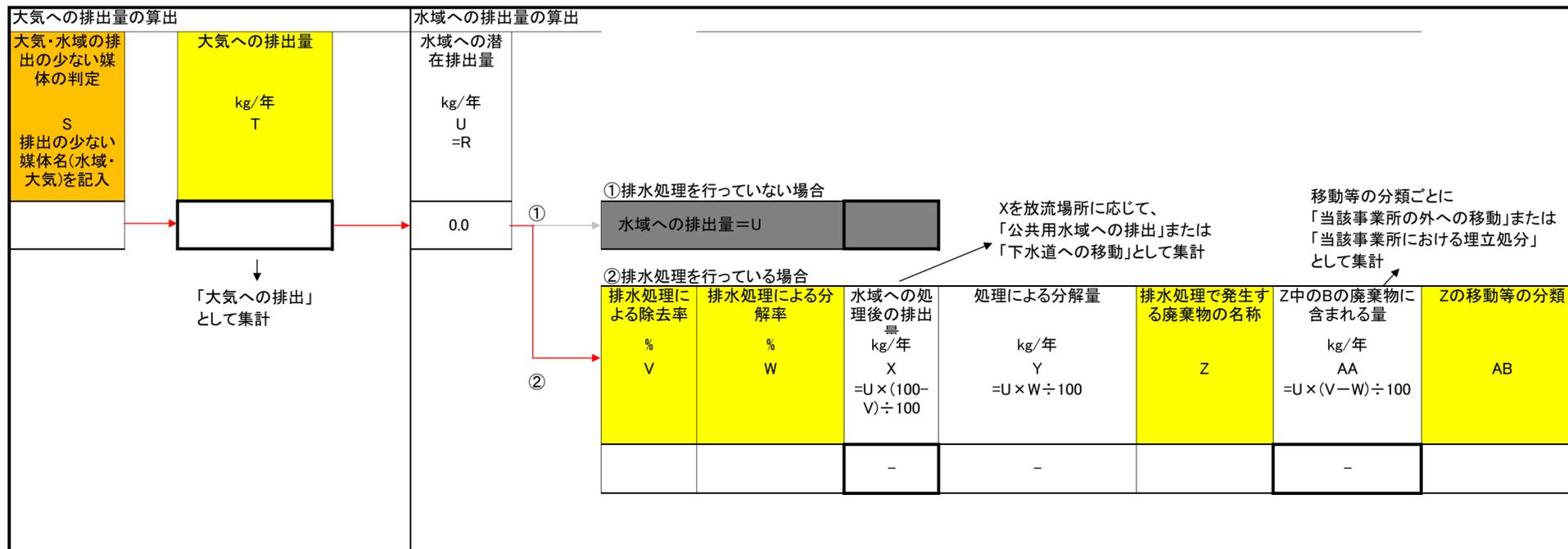
めっき工程用作業シート

この作業シートは、めっき工程におけるめっき液に含まれる金属化合物等の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-8めっき工程(pⅢ-99)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の対象物質を①めっき厚さ×めっき面積×金属化合物の密度  
②電流×めっき時間×電気化学当量×電流効率  
などの方法で算出してください。  
(電流効率は「排出量等算出マニュアル第Ⅲ部 14-3-7(pⅢ-372)参照」)

廃めっき液中の対象物質の含有率がわからない場合は、  
使用めっき液中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称			対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 H	製品や半製品としての搬出量の算出式 I	H中のBの製品や半製品としての搬出量 kg/年 J	Bの製品や半製品としての搬出量の合計 kg/年 K (Jの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 L	Lの発生量 kg/年 M	L中のBの含有率 % N	Lの移動等の分類 O	L中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 P =M×N÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 Q (Pの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 R =G-K-Q
めっき						0.0	0.0				0					0	0	0.0
						0.0										0		
						0.0										0		
						0.0										0		



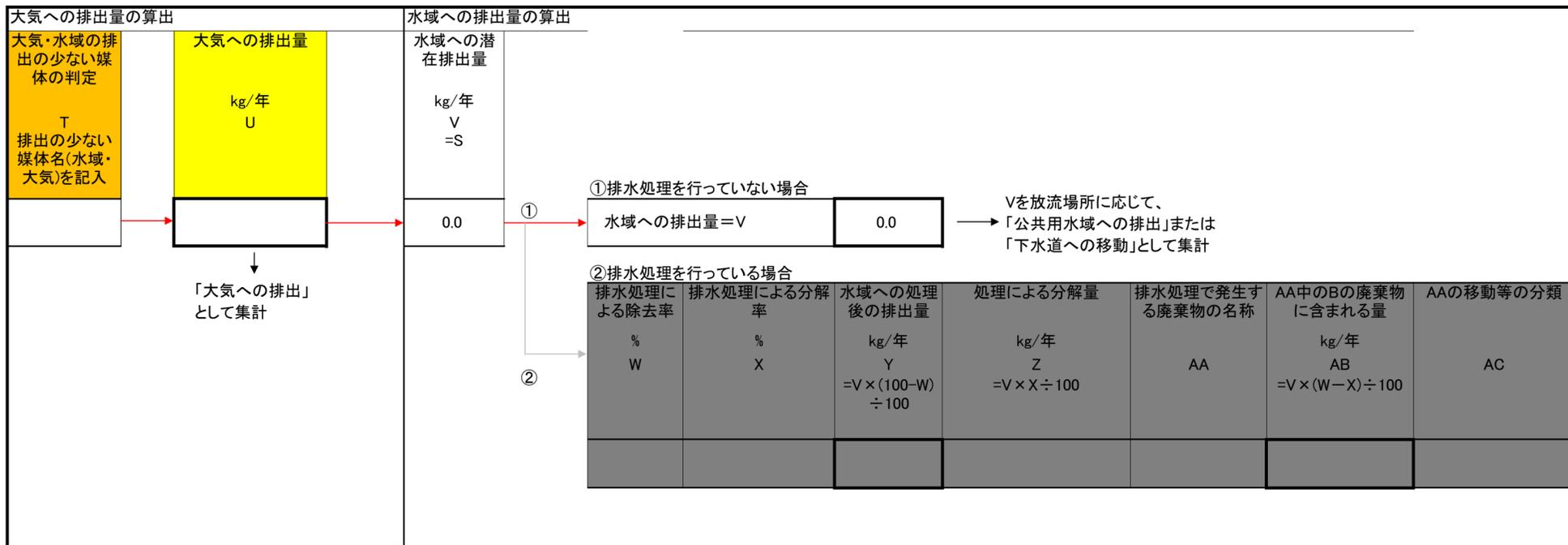
染色工程(染料)用作業シート

この作業シートは、染色工程における染料に含まれる金属化合物等の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-9染色工程(pⅢ-111)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、経験値等を用いて算出してください。

廃染料中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用染料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出						対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 H	Hの製造量 kg/年 I	H中のBの含有率 % J	H中のBの製品や半製品としての搬出量 kg/年 K =I×J÷100	Bの製品や半製品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 M	Mの発生量 kg/年 N	M中のBの含有率 % O	Mの移動等の分類 P	M中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Q =N×O÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 R (Qの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 S =G-L-R
染色						0	0				0	0					0	0	0
						0					0						0		
						0					0						0		
						0					0						0		



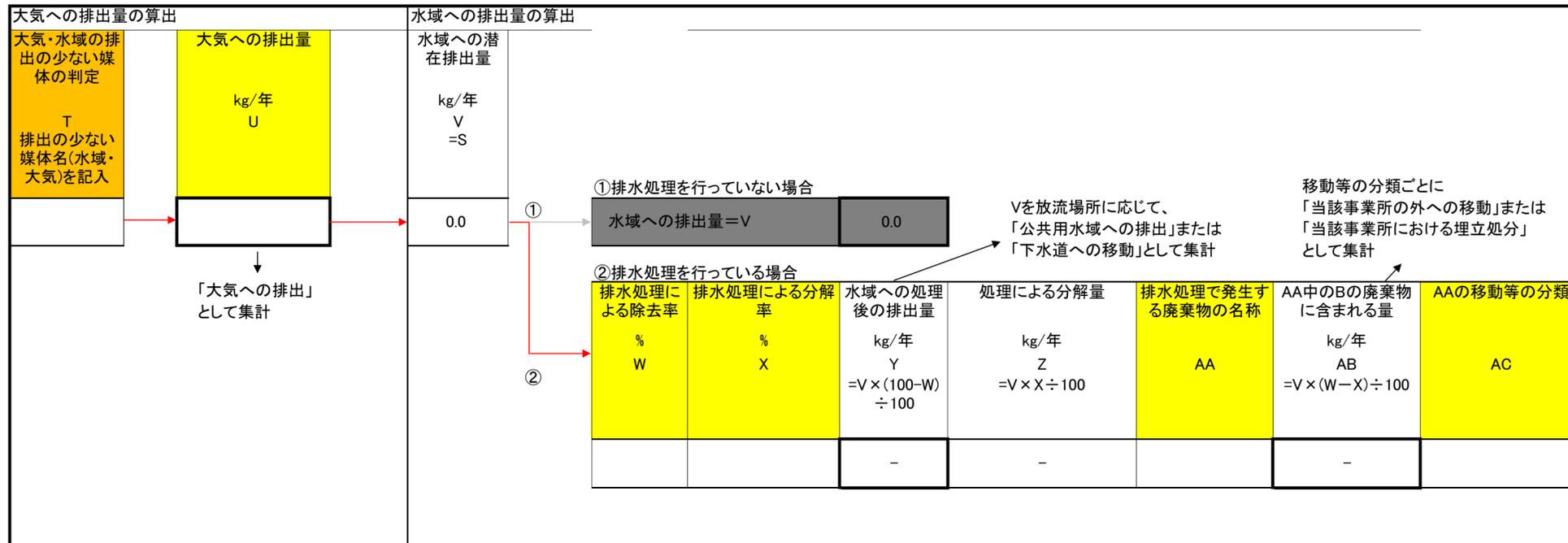
染色工程(染料)用作業シート

この作業シートは、染色工程における染料に含まれる金属化合物等の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-9染色工程(pⅢ-111)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、経験値等を用いて算出してください。

廃染料中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用染料中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出						対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出	
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名 B	Bが物質群の場合の個別物質名 B'	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるB(B')の年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称 H	Hの製造量 kg/年 I	H中のBの含有率 % J	H中のBの製品や半製品としての搬出量 kg/年 K =I×J÷100	Bの製品や半製品としての搬出量の合計 kg/年 L (Kの合計)	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 M	Mの発生量 kg/年 N	M中のBの含有率 % O	Mの移動等の分類 P	M中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Q =N×O÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 R (Qの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 S =G-L-R
染色						0	0				0	0					0	0	0
						0					0						0		
						0					0						0		
						0					0						0		





染色工程(繊維処理剤)用作業シート

この作業シートは、染色工程における繊維処理剤の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-9染色工程(pⅢ-111)の算出事例を参考にしてください。

製造品中の含有率がわからない場合は、経験値等を用いて算出してください。

廃剤中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用繊維処理剤中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出					対象物質の廃棄物に含まれる量の算出					対象物質の環境への最大潜在排出量の算出		
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bが物質群の場合の個別物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Aで製造されるBを含む製品や半製品の名称	Hの製造量	H中のBの含有率	H中のBの製品や半製品としての搬出量	Bの製品や半製品としての搬出量の合計	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Mの発生量	M中のBの含有率	Mの移動等の分類	M中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	B'	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	H	kg/年 I	% J	kg/年 K =I×J÷100	kg/年 L (Kの合計)	M	kg/年 N	% O	P	kg/年 Q =N×O÷100	kg/年 R (Qの合計)	kg/年 S =G-L-R
染色						0	0				0	0					0	0	0
						0	0				0	0					0	0	0
						0	0				0	0					0	0	0
						0	0				0	0					0	0	0

**水域への排出量の算出**

大気・水域の排出の少ない媒体の判定  
T 排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水溶解度を用いて算出する場合  
排水中のBの濃度 U (mg/L)  
排水量 V (m<sup>3</sup>/年)  
水域への潜在排出量 W (kg/年)  
 $W = U \times V \div 1000$

①排水処理を行っていない場合  
水域への排出量 = W  
排ガス処理により水域へ排出される量 = W'

ZまたはZ'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

②排水処理を行っている場合  
排水処理による除去率 X (%)  
排水処理による分解率 Y (%)  
水域への処理後の排出量 Z (kg/年)  
処理による分解量 AA (kg/年)  
 $Z = W \times (100 - X) \div 100$   
 $AA = W \times Y \div 100$

②-1 排水処理により大気へ排出される場合  
排水処理により大気へ排出される量 AB (kg/年)  
 $AB = W \times (X - Y) \div 100$   
→ AF(β)へ記入

②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合  
排水処理で発生する廃棄物の名称 AC  
AC中のBの廃棄物に含まれる量 AD (kg/年)  
 $AD = W \times (X - Y) \div 100$   
ADの移動等の分類 AE

ADまたはAD'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

α → 排ガス処理により水域へ排出される場合の記入欄 (これ以降の欄も同様)

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入してください。

---

**大気への排出量の算出**

※「大気への潜在排出量AF」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出  
②-1: AF=S-Z-AA-AB  
②-2: AF=S-Z-AA-AD

大気への潜在排出量 AF ※ (kg/年)

β → 排水処理により大気へ排出される場合の記入欄 (これ以降の欄も同様)

①排ガス処理を行っていない場合  
大気への排出量 = AF (1,070)  
排水処理により大気へ排出される量 = AF'

排ガス処理がない場合: AFまたはAF'  
排ガス処理がある場合: AIまたはAI'  
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合  
排ガス処理による除去率 AG (%)  
排ガス処理による分解率 AH (%)  
大気への処理後の排出量 AI (kg/年)  
処理による分解量 AJ (kg/年)  
 $AI = AF \times (100 - AG) \div 100$   
 $AJ = AF \times AH \div 100$

②-1 排ガス処理により水域へ排出される場合  
排ガス処理により水域へ排出される量 AK (kg/年)  
 $AK = AF \times (AG - AH) \div 100$   
→ X'(α)へ記入

②-2 排ガス処理から廃棄物が発生する場合  
排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AL  
AL中のBの廃棄物に含まれる量 AM (kg/年)  
ALの移動等の分類 AN

AMまたはAM'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

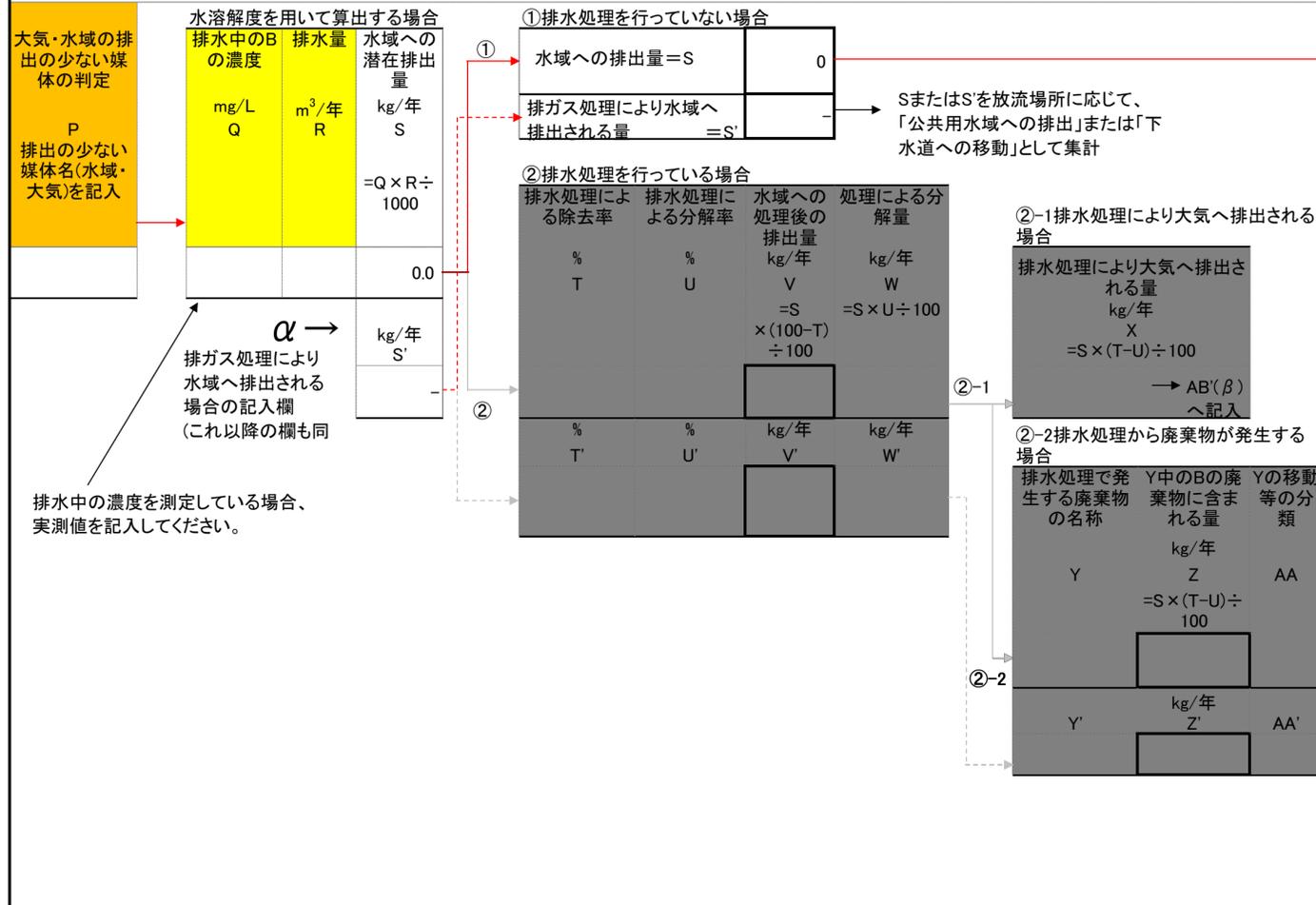
殺菌・消毒工程作業シート

この作業シートは、殺菌・消毒工程における殺菌剤・消毒剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれての発生量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-10殺菌・消毒工程(pⅢ-125)の算出事例を参考にしてください。

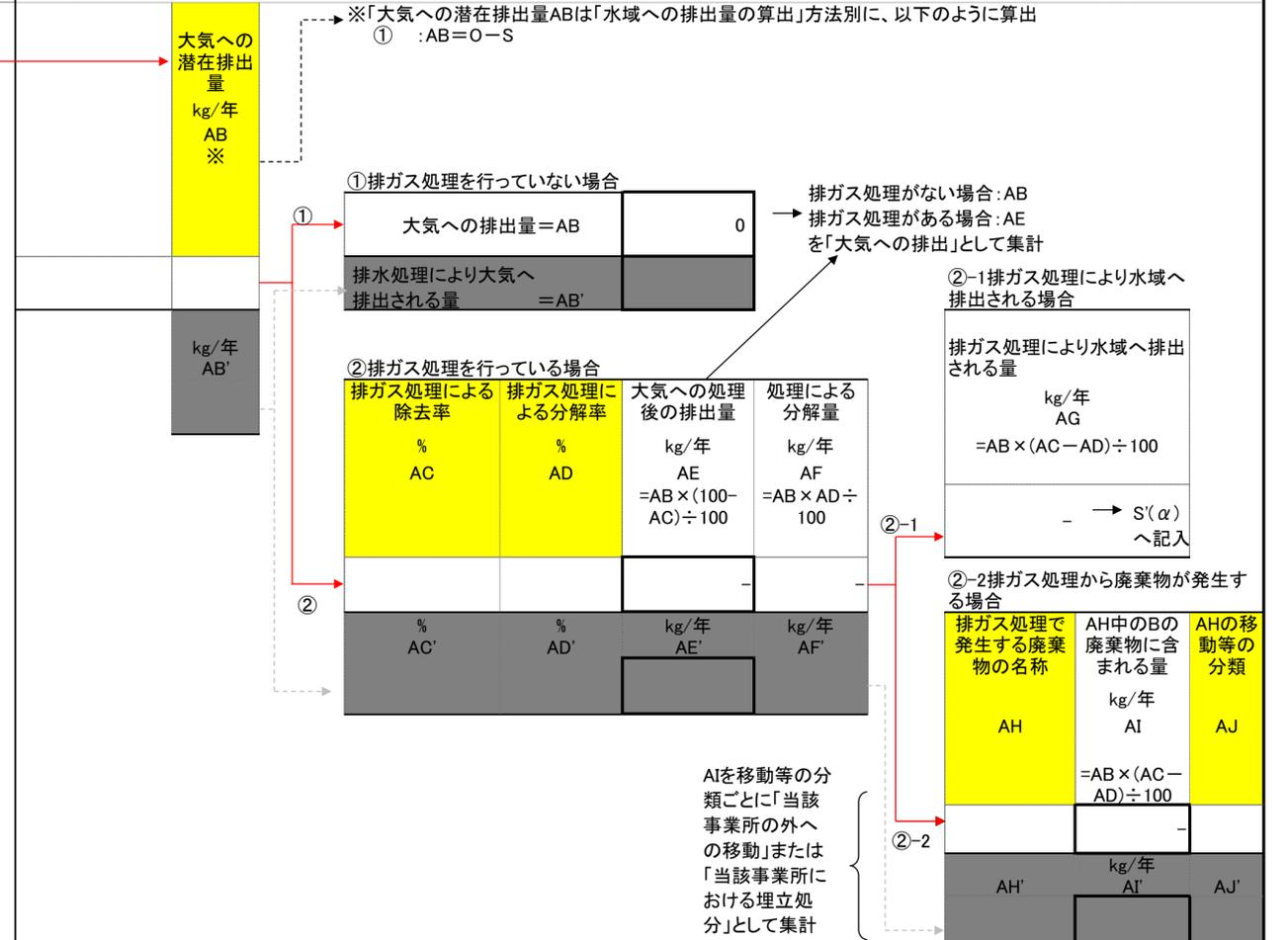
廃液等中の対象物質の含有率がわからない場合は、殺菌剤・消毒剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出				対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出				対象物質の環境への最大潜在排出量の算出
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	Bを含む原材料、資材等の名称	Cの年間取扱量	C中のBの含有率	Cに含まれるBの年間取扱量	Bの年間取扱量	Bの製品や半製品としての搬出量	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	Iの発生量	I中のBの含有率	Iの移動等の分類	I中のBの廃棄物に含まれる量	Bの廃棄物に含まれる量の合計	Bの環境への最大潜在排出量
A	B	C	kg/年 D	% E	kg/年 F =D×E÷100	kg/年 G (Fの合計)	kg/年 H	I	kg/年 J	% K	L	kg/年 M =J×K÷100	kg/年 N (Mの合計)	kg/年 O =G-N
殺菌・消毒					0.0	0.0	0					0	0	0.0
					0.0							0		
					0.0							0		
					0.0							0		

水域への排出量の算出



大気への排出量の算出



殺菌・消毒工程作業シート

この作業シートは、殺菌・消毒工程における殺菌剤・消毒剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれての発生量を算出するためのものです(1物質で1枚)。  
 排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-10殺菌・消毒工程(pⅢ-125)の算出事例を参考にしてください。

廃液等中の対象物質の含有率がわからない場合は、殺菌剤・消毒剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称		対象物質の年間取扱量の算出					対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出				対象物質の廃棄物に含まれる量の算出				対象物質の環境への最大潜在排出量の算出														
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称	A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名	B	Bを含む原材料、資材等の名称	C	Cの年間取扱量	D	C中のBの含有率	E	Cに含まれるBの年間取扱量	F	Bの年間取扱量	G	Bの製品や半製品としての搬出量	H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称	I	Iの発生量	J	I中のBの含有率	K	Iの移動等の分類	L	I中のBの廃棄物に含まれる量	M	Bの廃棄物に含まれる量の合計	N	Bの環境への最大潜在排出量	O
						kg/年	D	%	E	kg/年	F	kg/年	G	kg/年	H		kg/年	J	kg/年	%	K		L	kg/年	M	kg/年	N	kg/年	O
										$=D \times E \div 100$		$(F \text{の合計})$												$=J \times K \div 100$	$(M \text{の合計})$		$=G-N$		
殺菌・消毒										0.0		0.0												0	0	0.0			
										0.0														0					
										0.0														0					
										0.0														0					

水域への排出量の算出

水溶解度を用いて算出する場合

排水中のBの濃度	排水量	水域への潜在排出量
mg/L	m <sup>3</sup> /年	kg/年
Q	R	S
		$=Q \times R \div 1000$
		0.0

①排水処理を行っていない場合

水域への排出量=S	
排水処理により水域へ排出される量=S'	

②排水処理を行っている場合

排水処理による除去率	排水処理による分解率	水域への処理後の排出量	処理による分解量
%	%	kg/年	kg/年
T	U	V	W
		$=S \times (100-T) \div 100$	$=S \times U \div 100$

②-1排水処理により大気へ排出される場合

排水処理により大気へ排出される量	
X	
$=S \times (T-U) \div 100$	
	→ AB'(β)へ記入

②-2排水処理から廃棄物が発生する場合

排水処理で発生する廃棄物の名称	Y中のBの廃棄物に含まれる量	Yの移動等の分類
Y	kg/年	AA
	$=S \times (T-U) \div 100$	
Y'	kg/年	AA'

VまたはV'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

ZまたはZ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

α → kg/年 S'

β → kg/年 AB'

大気への排出量の算出

※「大気への潜在排出量ABは「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出

②-1: AB=O-V-W-X  
 ②-2: AB=O-V-W-Z

①排ガス処理を行っていない場合

大気への排出量=AB	0
排水処理により大気へ排出される量=AB'	

②排ガス処理を行っている場合

排ガス処理による除去率	排ガス処理による分解率	大気への処理後の排出量	処理による分解量
%	%	kg/年	kg/年
AC	AD	AE	AF
		$=AB \times (100-AC) \div 100$	$=AB \times AD \div 100$

②-1排ガス処理により水域へ排出される場合

排水処理により水域へ排出される量	
AG	
$=AB \times (AC-AD) \div 100$	
	→ S'(α)へ記入

②-2排ガス処理から廃棄物が発生する場合

排ガス処理で発生する廃棄物の名称	AH中のBの廃棄物に含まれる量	AHの移動等の分類
AH	kg/年	AJ
	$=AB \times (AC-AD) \div 100$	
AH'	kg/年	AJ'

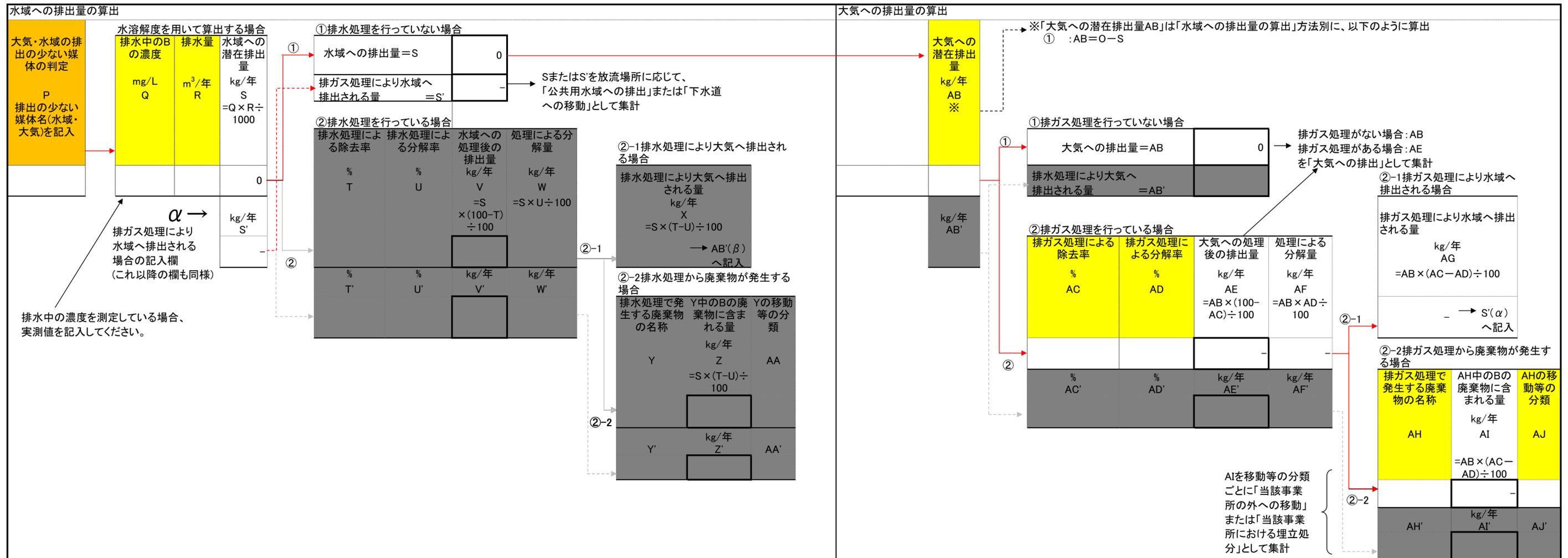
AIまたはAI'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

その他溶剤等使用工程作業シート

この作業シートは、その他溶剤等使用工程における溶剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-11 その他溶剤等使用工程(pⅢ-130)の算出事例を参考にしてください。

廃溶剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用溶剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称	対象物質の年間取扱量の算出						対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出				対象物質の環境への最大潜在排出量の算出		
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名称 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製品や半製品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
塗膜剥離					0.0	0.0						0	0	0.0
					0.0							0		
					0.0							0		
					0.0							0		
					0.0							0		



その他溶剤等使用工程用作業シート

この作業シートは、その他溶剤等使用工程における溶剤等に含まれる対象物質の環境への排出量及び廃棄物に含まれる量を算出するためのものです(1物質で1枚)。排出量等算出マニュアル第Ⅲ部資料編 1-11その他溶剤等使用工程(pⅢ-130)の算出事例を参考にしてください。

廃溶剤等中の対象物質の含有率がわからない場合は、使用溶剤等中の対象物質の含有率を用いてください。

対象物質及びそれを取り扱う工程の名称	対象物質の年間取扱量の算出						対象物質の製品や半製品としての搬出量の算出	対象物質の廃棄物に含まれる量の算出				対象物質の環境への最大潜在排出量の算出		
対象物質を含む原材料、資材等を取り扱う工程の名称 A	Aで取り扱う原材料、資材等に含まれる対象物質名称 B	Bを含む原材料、資材等の名称 C	Cの年間取扱量 kg/年 D	C中のBの含有率 % E	Cに含まれるBの年間取扱量 kg/年 F =D×E÷100	Bの年間取扱量 kg/年 G (Fの合計)	Bの製品や半製品としての搬出量 kg/年 H	Aで発生するBを含む廃棄物の名称 I	Iの発生量 kg/年 J	I中のBの含有率 % K	Iの移動等の分類 L	I中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 M =J×K÷100	Bの廃棄物に含まれる量の合計 kg/年 N (Mの合計)	Bの環境への最大潜在排出量 kg/年 O =G-N
塗膜剥離					0.0	0.0						0	0	0.0
					0.0							0		
					0.0							0		
					0.0							0		
					0.0							0		

### 水域への排出量の算出

大気・水域の排出の少ない媒体の判定  
P  
排出の少ない媒体名(水域・大気)を記入

水溶解度を用いて算出する場合  
排水中のBの濃度 mg/L Q  
排水量 m<sup>3</sup>/年 R  
水域への潜在排出量 kg/年 S  
S = Q × R ÷ 1000

①排水処理を行っていない場合  
水域への排出量 = S  
排水処理により水域へ排出される量 = S'

VまたはV'を放流場所に応じて、「公共用水域への排出」または「下水道への移動」として集計

②排水処理を行っている場合  
排水処理による除去率 % T  
排水処理による分解率 % U  
水域への処理後の排出量 kg/年 V  
処理による分解量 kg/年 W  
V = S × (100 - T) ÷ 100  
W = S × U ÷ 100

②-1 排水処理により大気へ排出される場合  
排水処理により大気へ排出される量 kg/年 X  
X = S × (T - U) ÷ 100  
→ AB'(β) へ記入

②-2 排水処理から廃棄物が発生する場合  
排水処理で発生する廃棄物の名称 Y  
Y中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 Z  
Z = S × (T - U) ÷ 100  
Yの移動等の分類 AA

ZまたはZ'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

α →  
排水処理により水域へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)  
kg/年 S'

排水中の濃度を測定している場合、実測値を記入してください。

### 大気への排出量の算出

大気への潜在排出量 kg/年 AB ※

※「大気への潜在排出量AB」は「水域への排出量の算出」方法別に、以下のように算出  
②-1: AB = 0 - V - W - X  
②-2: AB = 0 - V - W - Z

①排ガス処理を行っていない場合  
大気への排出量 = AB  
排水処理により大気へ排出される量 = AB'

排ガス処理がない場合: ABまたはAB'  
排ガス処理がある場合: AEまたはAE'  
を「大気への排出」として集計

②排ガス処理を行っている場合  
排ガス処理による除去率 % AC  
排ガス処理による分解率 % AD  
大気への処理後の排出量 kg/年 AE  
AE = AB × (100 - AC) ÷ 100  
処理による分解量 kg/年 AF  
AF = AB × AD ÷ 100

②-1 排ガス処理により水域へ排出される場合  
排ガス処理により水域へ排出される量 kg/年 AG  
AG = AB × (AC - AD) ÷ 100  
→ S'(α) へ記入

②-2 排ガス処理から廃棄物が発生する場合  
排ガス処理で発生する廃棄物の名称 AH  
AH中のBの廃棄物に含まれる量 kg/年 AI  
AI = AB × (AC - AD) ÷ 100  
AHの移動等の分類 AJ

AIまたはAI'を移動等の分類ごとに「当該事業所の外への移動」または「当該事業所における埋立処分」として集計

β →  
排水処理により大気へ排出される場合の記入欄(これ以降の欄も同様)  
kg/年 AB'